



八卦台

No. 1 1

令和3年3月1日

男鹿市立潟西中学校

潟中生の活躍や成長が多く見られた1年

目指す生徒像に照らして令和2年度を振り返る

校長 米屋 孝明

今年度も残すところあと1か月となりました。3年生は、今月9日に迫った公立高校一般選抜に向けて、ラストスパートをかけて頑張っています。全員が志望校に合格し、4月から元気に高校生として頑張ることを願っています。さて、今号では今年度の潟西中の成果を、目指す生徒像「学ぶ・挑む・関わる」に照らして振り返ってみます。

学

学習に励む生徒



1年数学授業研究(11/4)→

◎県学習状況調査(対象1・2年生)では経年比較で県との差が大きく縮小

12月に実施した県学状では、県平均を上回る教科が見られました。また、コロナのため全国学力学習状況調査は全国で一律に実施できませんでしたが、本校では実施し、県内実施校の自校採点と比較した結果、国語は県平均を上回りました。このように、これまでの取組の成果の一端を見ることができました。TTの指導体制、授業改善、教師と生徒の信頼関係のもとに取り組んだ授業づくりの成果と捉えています。

◎「生活や社会で役立つように勉強したい」の項目は、県平均と同程度以上

これは県学状の調査項目で、本校では3年生にも調査しましたが、すべての学年で数値が高く、3年生は100%でした。また、アンケートの「主体的に取り組む」「分かる・できるを実感している」の数値も高く、一日一日を大切に、将来の自己実現に向けて努力する姿勢が育ってきていることがうかがえます。

挑

目標に向かって挑む生徒



2年職場体験(10/27)→

◎部活動やコンテスト等でもてる力を全力で発揮

コロナのため、十分な練習ができない状況で迎えた中学校総合体育大会。陸上競技部ではほぼ全員が自己ベストの記録を出し、砲丸投げでは1位と3位を受賞。女子バスケットボール部は、吹奏楽部からの協力を得て単独チームとして出場し、悲願の一勝を挙げる事ができました。野球部は1・2年生の選手構成ですが、男鹿南中学校との合同チームで出場し、最後まで一進一退の攻防の熱戦を展開しました。

運動面のみならず、吹奏楽部は、全日本アンサンブル

コンテスト秋田県大会中央地区予選で銅賞を受賞。潟中祭では3年生のファイナルステージも含め、感動的な演奏に胸が熱くなりました。市社会科作品展でも優秀な成績を収める生徒がたくさん見られました。

◎地域を舞台とした体験活動の充実

働くことや、学ぶことの意味を考え、将来の生き方につなげることを目的として、様々な体験活動に取り組みました。職場体験、介護体験活動など、地域の皆様からたくさんご指導をいただきました。地域やふるさとのよさを再発見するとともに、自分の将来の夢や目標に向けて、考えを深め、主体的に取り組もうとする姿勢が見られるようになってきました。

◎「人の役に立つ人間になりたい」「将来の夢や目標をもっている」の項目は、高い数値を維持

将来の自己実現を意識し、充実した生活を送ろうとする強い気持ちが育ってきています。

関

友達と関わり合う生徒



3年介護体験(6/19)→

◎学年を越えた関わりで“絆や思いやり”を深めた潟西中

体育祭、潟中祭、球技大会、全校縦割り班清掃など、学年を越えた活動を通して、楽しく、朗らかに、全校が心をつなげて仲良く交流できることは、本校のよき伝統であり財産でもあります。また、これらの活動により、縦の絆が深まり、3年生のリーダーシップや自己有用感が高まるとともに、後輩の次年度の取組への意欲付けにもなっています。

◎「地域のためになる活動に進んで取り組みたい」「話し合ったり、協力したりして課題を解決する」の項目は、高い数値を維持

地域貢献への意欲、協調性や課題解決への意欲の高まりが見られます。

◎合同防災訓練4年目。コロナ禍での避難所を想定した訓練で、何ができるかを再考

避難所として学校が機能する取組として、近隣地区(福米沢、土花)と合同防災訓練を実施しました。コロナ禍における避難の仕方について、地域の方々と一緒に考え実施しました。生徒は、「受付」「消毒」「検温」「誘導」など、今できることを考えて取り組みました。生徒にとって「地域のために自分たちに何ができるか」を再考するよい機会にもなりました。

このように多くの活躍や成長を見ることができたのは、地域や保護者の皆様のお力添えのお陰と深く感謝申し上げます。来年度も、潟西中学校への変わらぬご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

今年もたくさんのご来校ありがとうございました

学年末PTA 2/16

2月16日、今年度最後となる学年末PTA（授業参観、全体会、学年・学級懇談）を実施しました。

授業参観、1A学活「職業調べ」では、様々な職業について、給料・勤務時間・休暇・学歴などの視点をもとに、クイズ形式で発表しました。

2A学活「高校入試について」では、高校の学科の内容や入試に関する説明を聞いたり、全員で〇×クイズに挑戦したりして理解を深めました。2B学活「3年後の自分」では、今の自分を様々な角度からみつめ、今後について一緒に考えました。

3A学活「一年間を振り返って」では、これまでの行事や活動について、思い出の1コマをスクリーンに映し出し、生徒による再現パフォーマンスを交えながら様々な方法で紹介しました。保護者の方々と一緒に楽しみ懐かしむとともに、とても感慨深く思い出に浸ることができました。

全体会で校長からは、この一年を「学・挑・関」の観点で振り返り成果と課題等について、学習担当からは学びの目的や取組について話がありました。また、PTA会長からは、これまでの協力に感謝しつつ、今後の活動等について保護者の方々にご理解をいただきました。

たくさんの方々の保護者の皆様に授業や生徒の様子を参観していただき、学校の取組を直接お届けすることができて、大変うれしく思っております。年度末の多忙な時期にもかかわらず、ご参加いただき誠にありがとうございました。今年度も残り一ヶ月となりました。最後までどうかよろしくお祈りいたします。



▲1A 職業クイズ



▲2A ザ・高校入試



▲2B 3年後の自分



▲3A 思い出の再現

3・4月の行事予定

3/1	月	学校安全点検日
5	金	スクール・カウンセラー来校(11)最終
7	日	部活動休止日
9	火	公立高校入学者一般選抜学力検査等実施日 1、2年生進級テスト
11	木	3年生を送る会
12	金	第66回卒業証書授与式 10:00
15	月	職員会議
16	火	美里小卒業式
17	水	公立高校一般選抜合格者発表日
19	金	修了式
21	日	部活動休止日
22	月	春季休業（～4/3日） 新入生連絡会 10:00
24	水	PTA会計監査、二役会
26	金	離任式
4/1	木	開校記念日
6	火	新任式 始業式
7	水	入学式
21	水	PTA・文化体育活動後援会総会
24	土	市郡中学校春季大会（～25日）※予定
27	火	学校運営協議会(1)

潟中Topics



◆2月10日 冬季避難訓練

コロナ禍での厳寒期、大規模な地震とそれによる火災の発生を想定して、避難訓練を実施しました。雪国秋田で暮らす私たちは、このような災害が発生した場合、他の季節とは違った対応に迫られます。その対応について確認し、実際に訓練することがねらいです。

生徒たちは、緊急放送をしっかりと聞き取り、指示に従い机の下に避難した後、素早く防寒着を身に付けました。その後、玄関で冬靴を持ち、互いの間隔を空けながら自転車置き場前に避難・整列しました。

あらためて確認できたことは、校外に避難や待機した場合の防寒着の必要性です。当日は外気温が1度程度でしたが風が冷たく、2分程外にしていると体が芯から冷えてきました。普段の登下校では車での送迎で防寒対応のない生徒もおります。いざという時には、防寒着がないと生命にかかわるかもしれません。非常時に困らないように、普段から防寒着を着用させたいものです。本校では、今後も地震や火災、津波、不審者侵入など、様々な事態を想定した訓練や、地域との合同訓練を行うなどして、防災教育を進めていきます。



▲マスク着用、外靴持参



▲距離を空けて整列

学校の取組を評価していただきました

第4回学校運営協議会

2月5日、今年度最後となる第4回学校運営協議会を開催しました。はじめに、校長が、目指す生徒像「学ぶ・挑む・関わる」とCSに関わる今年度の取組及び自己評価について説明し、それを受け委員の皆様方からご意見と評価（学校関係者評価）をいただきました。

(1)『学ぶ(学習に励む生徒)』について

- ・諸調査等の結果が、県平均を上回っている項目が多く、大変よい。
- ・概ね目標が達成できている。全体的にアップしていて、喜ばしい。
- ・研修など教員の様々な努力があつてのことだと思う。ありがたい。
- ・基礎学力向上や家庭学習の個別指導等を、一層充実させて欲しい。

(2)『挑む(目標に向かって挑む生徒)』について

- ・コロナ禍で様々な制限があつた中で、教師と生徒が知恵を出し合つて、主体的に企画・運営に取り組んでいることが、素晴らしい。
- ・縦割りの様々な活動は、「絆づくり」にとっても大切。継続して欲しい。
- ・生徒が「自分にはよいところがある」と、もっと自信がもてるように、今後も継続して様々な工夫やご指導をお願いしたい。

(3)『関わる(友達と関わり合う生徒)』について

- ・ボランティアなど地域行事に参加できなかったのは、とても残念。
- ・卒業生もどんどん学校の活動や行事に参加して、盛り上げて欲しい。
- ・地域で生徒から挨拶をされる。挨拶は基本、今後も継続して欲しい。
- ・授業でも生徒同士、教師と生徒が関わって信頼関係ができています。
- ・「職場体験」の発表を聞き、生徒のわくわく感が伝わってきた。

(4)『コミュニティ・スクール(CS)』について

- ・校報の全戸配付は、地域の関心を高める効果がある。続けて欲しい。
- ・協議会に参加できてよかった。子供が学校が好きな理由が分かった。
- ・学校、家庭(保護者)、地域の連携や取組がよい。素晴らしい。
- ・合同防災訓練を、他の地域も一緒に実施すれば、防災意識が高まる。
- ・地域でCS認知度は高くはない。周知や発信方法の検討が必要である。